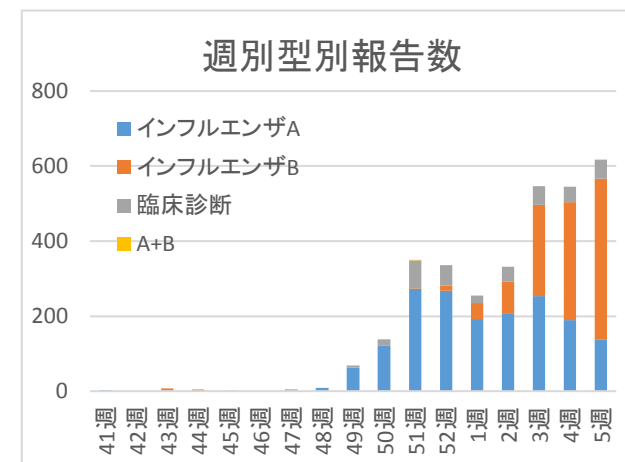


今シーズンのインフルエンザの状況

2018年2月6日

(1月29日までの報告です。)

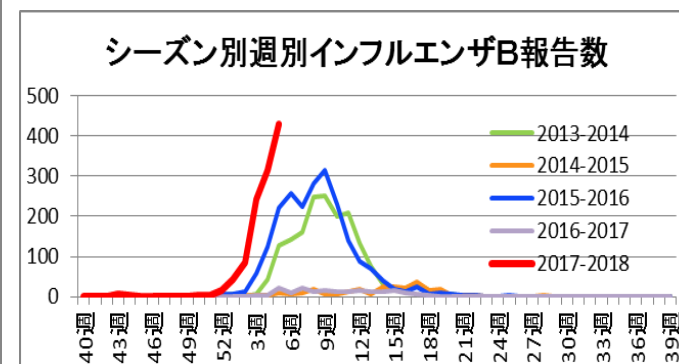
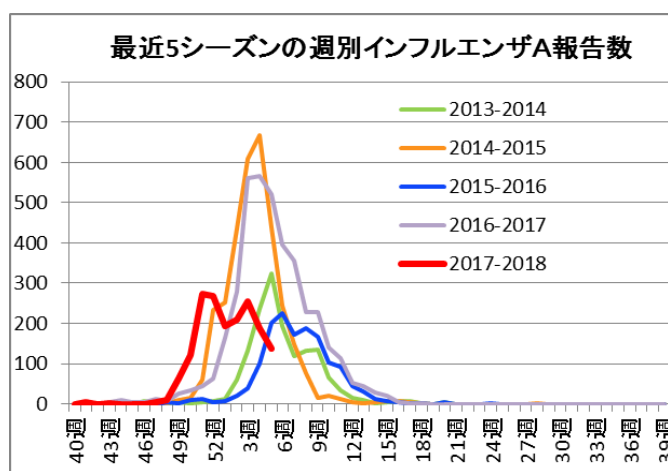
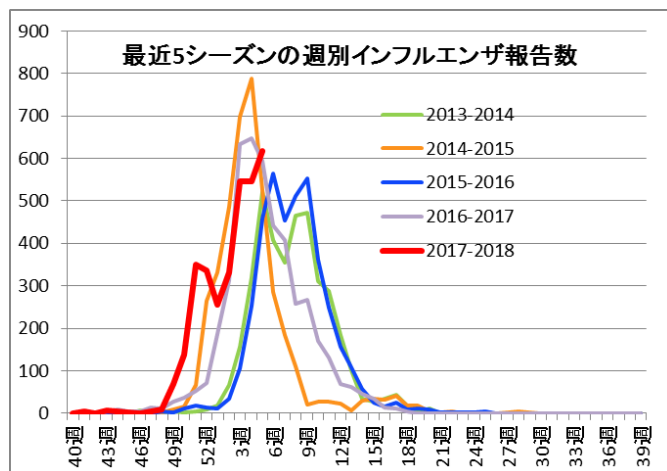
	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	1週	2週	3週	4週	5週	合計
インフルエンザA	3	0	1	0	0	0	5	9	63	121	273	268	192	208	254	189	138	1724
インフルエンザB	0	0	6	4	1	0	0	0	0	2	2	14	43	84	243	315	429	1143
臨床診断	0	0	0	0	0	0	0	0	5	15	73	54	20	39	49	41	49	345
A+B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
総診断数	3	0	7	4	1	0	5	9	68	138	349	336	255	331	546	545	617	3214



2月4日までの報告のまとめです。20の医療機関より3214例の報告がありました。現時点では左下のグラフのように、第5週が617例の報告があり、ピークとなっています。今シーズンは11月末よりインフルエンザA(AH1pdm)の流行があり、7シーズンぶりの流行のため、小児の間で大きな流行になるのではと予想していましたが、冬休み明けからは減少して、終息に向かっています。3学期に入り、常盤学区でインフルエンザBの流行が始まり、市内全体に拡大して大きな流行になっています。第5週の報告数は429例となり、例年にない大きな流行になっています。インフルエンザBは、一般に軽症の印象ですが、無理をするとやはり症状は悪化します。ゆっくり休みましょう。2種類のインフルエンザにり患する症例の報告も増えています。厳しい寒さが続きます。感染予防に努めて下さい。教育委員会の出席停止者の報告数は2月2日の時点で1147例となりました。例年1500例前後の報告があります。

認定こども園	215	47	21.9%
幼稚園	922	163	17.7%
小学生	3944	722	18.3%
中学生	1966	215	10.9%
合計	7,047	1,147	16.3%

発熱してすぐに受診する例も多いですが、比較的元気であれば、1日ほど経過をみてから受診してください。ある程度時間がたって、ウイルスが増えないと検査で陽性にはなりません。医師は、周囲で流行があり同様の症状であれば、検査をすることなくインフルエンザと診断して必要なら抗インフルエンザ剤を処方します。



三宅内科小児科医院 三宅真砂子

(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyaiinsoja.webmedipr.jp/>)